

## 新入学児童の 交通安全を願う

町商工会女性部が交通安全お守りを寄贈

町商工会女性部（山内妙子部長）が3月22日、4月から小学校へ入学する新入学児童たちへ、交通事故防止を願って作成した「交通安全のお守り」を町へ寄贈しました。

お守りは、雨や雪の際でもランドセル等に付けられるようにと、アクリル板でできており、交通安全メッセージとおびまるが描かれています。

山内部長らは「子どもたちの交通安全を願って作りました。ぜひお役立てください」と述べお守りを町長へと手渡ししました。



町長に交通安全のお守りを手渡した商工会女性部

## 希望に胸を膨らませ

町内で入園・入学式

4月に入り、町内の小中学校と幼稚園で入学式・入園式が行われ新入生が新たな生活をスタートしました。

4月6日に行われた各校の入学式では、少し緊張した表情で入場した新入生を在校生や保護者らが温かい拍手で迎えました。

また、4月8日に各幼稚園で行われた入園式では、新入園児たちが保護者に手を引かれながら入場し、名前を呼ばれると元気いっぱい返事をする晴れ姿を、保護者らに見せていました。



元気いっぱいに返事をする新入園児（小平幼稚園）

## 元気に戻れと願い込め

幌沖内川でサケ稚魚放流

幌沖内川上流でサケ稚魚放流が行われ、新星マリン漁業協同組合、道立水産ふ化場らの関係者が、サケ稚魚約200万匹を4月7日と4月19日の2日に分けて稚魚中間育成施設へ放流しました。

昨年12月にふ化した稚魚は、体長5センチ前後で重さは約1グラム程、回帰率を高めるために、中間育成施設で約1週間飼育した後、川へ放流されました。

放流されたサケは、約4年後に遡上するとされています。



中間育成施設へ移されたサケの稚魚

## 事故のない安全な町へ

小平町交通安全住民大会

4月14日に小平町交通安全推進協議会主催の小平町交通安全住民大会が、文化交流センターで開かれました。

留萌警察署の和田高志交通課長の講演では、煽り運転や飲酒運転などの悪質な運転への注意喚起がなされました。

また、住民を代表して新星マリン漁業協同組合の山田博文さんが決意宣言を行いました。

大会終了後、交通安全旗の波運動が国道232号沿道で行われ、通過するドライバーに交通安全を呼び掛けました。



住民を代表して決意宣言する山田博文さん